



学びのコップを上向きにして

所長 竹内 学

現在放映中のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公、渋沢栄一は、その著書「論語と算盤」の中で、「道德経済合一説」という理念を述べています。「富をなす経済活動は、真に人の世のためになるという道理にかなうものでなければならぬ」という考え方です。

経済活動を学校教育で言い換えれば、「学校の教育活動は、真に子どもの幸せのためになるものでなければならぬ」ということでしょうか。そう考えると、結果や成果を求めるあまり、目の前の子どもの姿から離れてしまう教育活動は、子どもの幸せに結びつかない…そんな戒めの声が聞こえてくるようで、どきりとしみます。子どもの姿に立ち返る大切さを忘れてならないのですね。

さて、GIGAスクール構想により各学校に一人一台のタブレットPCが導入され「ICTの利活用」は待ったなしです。「個別最適化」、「資質・能力の育成」、「主体的・対話的で深い学び」、「社会に開かれた教育」、「特色ある学校づくり」…今学校に求められているこれらのことをどのようにマネジメントしたらよいのでしょうか。これこそがカリキュラム・マネジメントではないかと思います。

一方、令和2年度、不登校がさらに増加しました。コロナ禍の中で自傷行為や虐待など、子どもの命の危機も増加しました。どうやったら防ぎ、解消できるのでしょうか。どうやったら子どもたちの安全、安心な学びの環境を守ることができるのでしょうか。

当センターでは、今年度、こうした直面する課題への即応とコロナ対策、働き方改革への寄与を運営方針に、上越市の教育施策に基づきながら、オンライン研修を17講座設定するなど、検討を加えて教職員研修を計画しました。今後も状況によって柔軟に対応していこうと考えています。上越市の子どもたちの幸せにコミットする教育実践を進めるため、ぜひ当センターの研修を活用してください。

あるたとえ話に「学びのコップ」という話がありました。「学びのコップ」は人の心の中にあり、上向きになっていないと学ぶ意欲も学んだこともみんなこぼれ落ちてしまうのだそうです。子どもたちのために常に学び自分を高めようとする謙虚な心がコップを上向きにします。新しい知見や効果的な手法、よりよい考え方、必要な対応や取組など、たくさんの学びを自分のものにしてくださることを期待しています。

「所報」は、教育センターのホームページでも公開しています。ご覧ください。

令和3年度 教育センター 実施事業・メンバーの紹介

教育研究部

教育資料部



竹下 由加理
曾根原 至
加藤 喜美江
加納 雅義
間島 広明
品田やよい
山崎 彰
内藤 雅代
中村美津子
清水登紀子

◆**教職員研修講座**は、参加者の授業改善に資するよう講師陣を厳選し、工夫を凝らして魅力ある研修を計画しています。

4月1日配付の**職員研修案内**をご覧ください。確実な申込と参加を！！

◆**上越カリキュラム研究**は、飯小・城北中が実践に取り組んでいます。

◆今年度より教師の授業力向上に役立つ**ピアサポート授業づくり事業**を実施します。詳細は次号でお知らせします。

◆第10期**夢しごと元気塾**は、マンツーマン指導で塾生の授業力や教師としての力量の向上を目指します。

科学研究部



稲葉 浩一 齋藤 俊明 家塚 大樹 伊倉 智子

◆子どもたちが楽しく学べる理科・生活科の授業づくりのための効果的な指導法や、実験が成功するコツを紹介します。

◆新学習指導要領の実施や教科書が変わったことにより変更された内容、実験等を重点的に研修します。

◆日頃の科学研究や夏休みの取組の成果を発表する機会として、児童生徒科学研究発表会を実施します。

研修会参加者には授業にすぐ使える教材等をお渡しします。多くの方のご参加をお待ちしています。

情報教育部



豊 和弘 中村 博子

◆令和3年度はGIGAスクール元年です。これまでの校務の情報化に係る校務支援システムの活用研修やプログラミング教育等の指導方法に係る研修に加えGIGAスクール構想で整備したICT環境の活用推進に向けた悉皆研修と希望者研修を新設しました。Meet や Zoom で学校から参加する研修会もあります。新たな学びや iPad・学習用クラウドを活用した授業について研修し、日々の教育活動に ICT を取り入れていきましょう。

教育相談部

学校訪問カウンセラー

◆学校訪問カウンセラーによる教育相談

・小学校全48校を、10名の学校訪問カウンセラーが分担して訪問し、相談活動を行います。学校が行う生徒指導や教育相談を側面から応援する役割を担います。学校の子どもたち、教職員、保護者を対象に、不登校やいじめに関する相談をはじめ、様々な相談に応じます。

◆学校外で行う「来所相談」

・中央教育相談所（教育センター内）、南適応指導教室、北適応指導教室で受け付けます。（連絡先：P4参照）

◆電話相談「子どもほっとライン」

・24時間受け付けます。025 - 543 - 2199



仁田 秀三	関川 久美子	宮澤 忠明	西田 美樹	関間 久子	相澤 圭子	富永 清文	岩島由起子	藤田 由江	横山 祐己
-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

◆「カウンセリング研修」の開催

- ・夏期：8/3（火）～ 8/5（木）
- ・冬期：12/27（月）28日（火）1/5（水）

不登校児童生徒への個別指導や体験活動などとおして、自立心と集団生活への適応能力を高め、学校復帰をはじめとした社会的自立ができるよう、支援してまいります。

南・北教室それぞれ2人の指導員体制で、通室生への生活支援・学習指導を行います。

保護者及び在籍校と緊密に連携し、通室生の「心の居場所づくり」を目指し、一人一人のニーズに応じたきめ細かな支援に努めます。（連絡先：P4参照）

適応指導教室



北適応指導教室

南適応指導教室

諏訪 安貞 加藤 優花 目細 敏子 松野 和美

JASTが設置され12年目を迎えました。近年の学校からの相談内容は、暴力等の非行問題から、不登校や子どもの特性からくる集団不適應の問題へと変わってきています。

今年度は、新たに臨床心理士が加わり、9名体制で対応していきます。学校だけでは解決が困難なケースに対し、学校が主体となって早期解決できるよう、チームによる支援を行います。

子どもがすこやかに成長し、楽しい学校生活を送ることができるように、学校と一緒に解決に向けて取り組んでいきます。

じょうえつあんしんサポートチーム(JAST)



加藤喜美江	中村美津子	藤田 由江	田邊 道行	山崎 彰	小山 明	仁田 秀三	梶原亜紀子	鈴木真理子
-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------

教育センター組織図



ご活用ください!

来所相談

来所相談は、保護者、教職員の皆さんや子どもたちが、学校生活や家庭生活などで悩んでいること・困っていることについて、相談するものです。

★中央教育相談所（教育センター内）

- ◎受付曜日 月曜日～金曜日
(祝日、年末年始を除く)
- ◎相談時間 午前9時10分～12時
午後1時～4時

★南教育相談所（南適応指導教室内）

★北教育相談所（北適応指導教室内）

- ◎受付曜日 月曜日～金曜日
(祝日、年末年始を除く)
- ◎相談時間 午前9時～午後3時50分

※事前に電話で予約を受付けます。

- ・中央教育相談所 ☎025-545-9247
- ・南教育相談所 ☎025-522-2428
- ・北教育相談所 ☎025-545-0780
(いずれも受付曜日の相談時間内)

子どもの心に近づく

「保護者と協力し合って」

学校訪問カウンセラー

関川 久美子

学校の相談室には、子どもだけでなく、保護者の来室も少なくありません。保護者と話をしていると、子どもを大切に、愛情をかけて育てている様子や、子どもを気に掛けている様子が分かります。一生懸命だなあ、素晴らしいなあと感心することが多々あります。しかし、中には子どもを思うあまり、「こうあらねばならない」と気負った子育てをしている方もいます。余裕のない子育ては、子どもに無理を強いることとなります。保護者自身も苦しくなり、悩みとなります。少し力を抜いて子どもを信じ、見守ることも保護者を含めた私たち大人の役割ではないでしょうか。

相談を進めていくと子どものことに留まらず、保護者自身の相談になることもあり、耳を傾けます。子どもを支えるには、保護者を支えることも大切だと感じています。